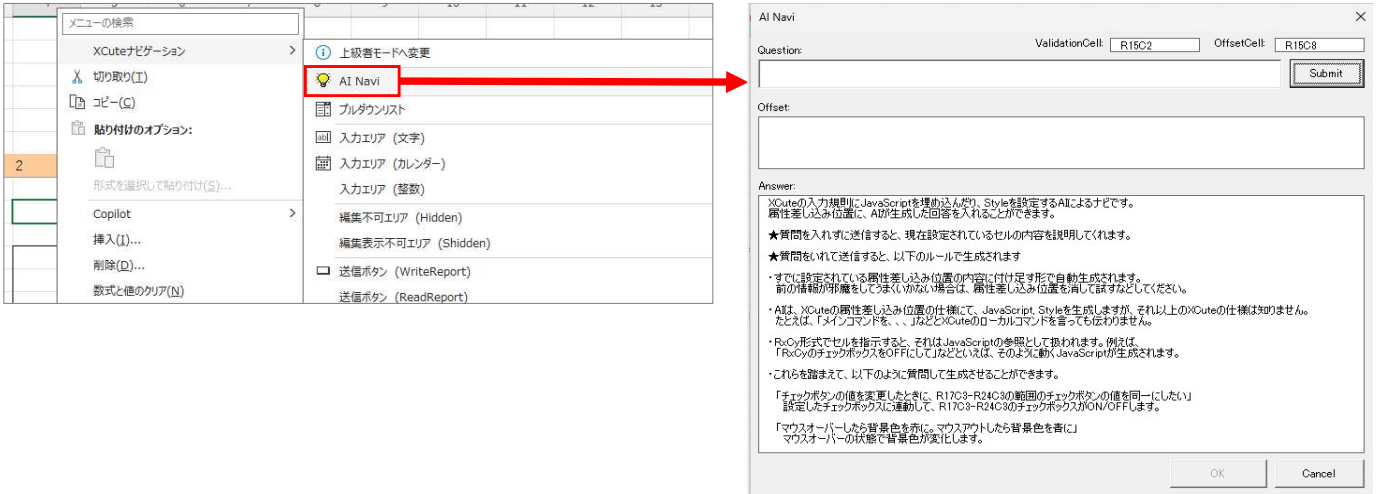


AI Navi

XCuteの入力規則にJavaScriptを埋め込んだり、Styleを設定するAIによるナビ機能です。

質問した内容に応じたJavascriptやスタイルを生成して差し込むこと、セルの内容を解析することが可能となります。

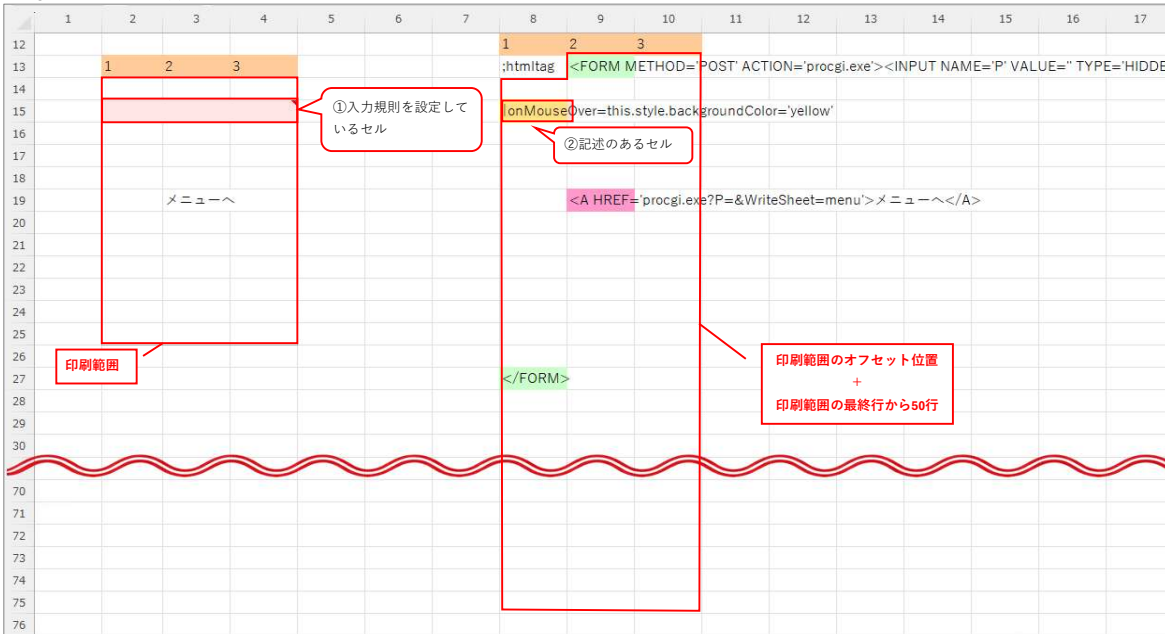


●AI Naviを起動できるセル

AI Naviを起動できるセルの範囲は、印刷範囲内、もしくは印刷範囲のオフセット位置、印刷範囲の最終行+50行までのオフセット位置となります。

この範囲内で、下記の条件の時にAI Naviウィンドウが開きます。

- ① 印刷範囲内、かつ入力規則が設定されている
- ② オフセット位置の範囲内、かつセルに記述がある



範囲内で、①～③の条件を満たさないセルでAI Naviを起動すると、下記のようなプロンプトが表示されます。



●質問を入力する時の注意事項

※1 すでに設定されている属性差し込み位置の内容に付け足す形で自動生成されます。

※2 生成結果が想定外の場合は、前の情報が影響している可能性があります。属性差し込み位置を消して再試行してください。

※3 AIは、XCuteの属性差し込み位置の仕様にて、JavaScript、Styleを生成しますが、それ以上のXCuteの仕様は認識していません。「メインコマンドを…」などとXCuteのローカルコマンドを投げても生成はできません。

※4 RxCy形式でセルを指示すると、それはJavaScriptの参照として扱われます。例えば「RxCyのチェックボックスをOFFにして」などと投入すれば、そのように動くJavaScriptが生成されます。

●**実行例** これらを踏まえて、以下のように質問して生成させることができます。

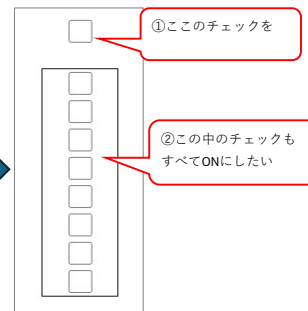
- 【例1】チェックボタンの値を変更したときに、R17C3-R24C3の範囲のチェックボタンの値を同一にしたい
生成結果を実行すると→ 設定したチェックボックスに連動して、R17C3-R24C3のチェックボックスがON/OFFします。
- 【例2】マウスオーバーしたら背景を黄色にしたい
生成結果を実行すると→ テキストエリアにマウスオーバーすると、背景が黄色になる
- 【例3】ブルダウンを変更したら送信したい
生成結果を実行すると→ ブルダウンを変更すると送信がかかります。
- 【例4】ブルダウンを変更した送信時に、hiddenを動的に生成し、nameはWriteSheet、valueはAISample3
生成結果を実行すると→ ブルダウン変更時に送信と同時にメインコマンドが発行されるようになります。
- 【例5】現在のセルの内容を解析したい
AINaviを実行すると→ 差し込み位置の記述内容の解析結果を表示

【例1の実装】チェックボタンの値を変更したときに、R17C3-R24C3の範囲のチェックボタンの値を同一にしたい

AI差し込みをするためのチェックボックスと、複数のチェックボックスを作成します。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
12								1	2	3			
13		1	2	3				:htmltag <FORM METHOD="POST" ACTION="procgi.exe"><IN					
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													

ブラウザで表示すると



R15C3セル上でAI Naviを選択し、表示したAI Navi画面のQuestionに実装したい内容を記述して、Submitボタンを押下します。

AI Navi

Question: ValidationCell: R15C3 OffsetCell: R15C9

チェックボタンの値を変更したときに、R17C3-R24C3の範囲のチェックボタンの値を同一にしたい

Submit

Offset:

```
=["TYPE=CHECKBOX|VALUE=1|NAME=Set_R"&ROW&"C3" & IF(ROW=1,"[CHECKED]","")]
```

Answer:

XCutの入力規則にJavaScriptを埋め込み、Styleを設定するAIによるものです。
属性差し込み位置に、AIが生成した回答を入れることができます。

- ★質問を入力すると送信すると、現在設定されているセルの内容を説明してくれます。
- ★質問をいれて送信すると、以下のルールで生成されます
- すでに設定されている属性差し込み位置の内容に、付加せず形で自動生成されます。
前の情報が邪魔をしないよう、属性差し込み位置を消して再入力してください。
- ★AIは、XCutの属性差し込み位置の仕様にて、JavaScript、Styleを生成しますが、それ以上のXCutの仕様は知りません。
たとえば、「メインコマンドを...」などのXCutのD→コマンドを言っても伝わらません。
- ★RxCy形式でセルを指示すると、それはJavaScriptの参照として扱われます。例えば、「RxCyのチェックボックスをOFFにして」といえば、そのように動くJavaScriptが生成されます。

これらを踏まえて、以下のように質問して生成させることができます。

「チェックボタンの値を変更したときに、R17C3-R24C3の範囲のチェックボタンの値を同一にしたい」
設定したチェックボックスに連動して、R17C3-R24C3のチェックボックスがON/OFFします。

「マウスオーバーしたら背景色を赤に。マウスアウトしたら背景色を青に」
マウスオーバーの状態では背景色が赤になります。

OK Cancel

answerに実装候補と提案が表示されます。

内容に問題がなければ「OK」ボタンを押下します。

AI Navi

Question: ValidationCell: R15C3 OffsetCell: R15C9

チェックボタンの値を変更したときに、R17C3-R24C3の範囲のチェックボタンの値を同一にしたい

Submit

Offset:

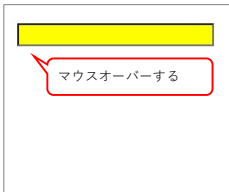
```
=["TYPE=CHECKBOX|VALUE=1|NAME=Set_R"&ROW&"C3" & IF(ROW=1,"[CHECKED]","")&"|onChange=var val=this.checked;for(var i=17;i<=24;i++)document.getElementsByName("Set_R"&i&"C3")[0].checked=val]"]
```

Answer:

- 複数のチェックボックスを連動させる場合、iの値ではなく、checkedの状態を揃えるほうが操作性が安定します。
- JavaScript内のループ範囲(=17~24)は必要に応じて動的に調整できます。
- 操作の連動はonChangeで行うため、誤タックが防止や意図しない連動を避ける場合は補足のガードを検討してください。

OK Cancel

画面をリロードしてマウスオーバーすると、テキストエリアの背景が黄色になることを確認できます。



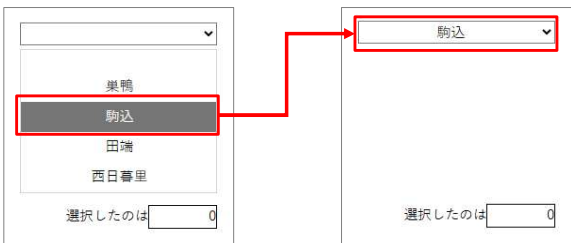
【例3の実装】プルダウンを変更したら送信したい

AI差し込みをするためのプルダウンを作成します。また、プルダウンを参照するセルも作成します。

12																				
13	1	2	3					1	2	3										
14								;htmltag <FORM METHOD='POST' ACTION='procgi.exe'><INPUT NAME='P' VALUE='AISample' TYPE='HIDDEN'>												
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				
21																				
22																				
23																				
24																				

ブラウザで表示して確認します。

プルダウンを選択しても、選択値がセットされるだけで、画面が更新されないことが確認できます。



入力規則を設定したセル上でAI Naviを選択し、AI Navi画面に「プルダウンを変更したら送信したい」と記入し、Submitボタン押下。表示内容を確認後にSubmitボタンを押下します。

AI Navi

ValidationCell: R15C2 OffsetCell: R15C8

Question: プルダウンを変更したら送信したい Submit

Offset:

Answer:

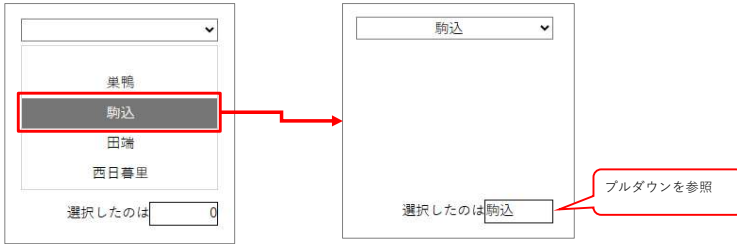
```
=[onChange=document forms["xcute_system_form_name1"].onsubmit();document forms["xcute_system_form_name1"].submit()"
```

- ドロップダウン選択後の送信処理が不要な場合は、onChangeイベントを通常の値変更処理のみにもすることも可能です。
- 入力値の検証やエラーメッセージの追加する場合は、onChangeイベント内に必要なJavaScriptを書き加えてください。
- フォーム送信前に選択値をリセットしたい場合は、onChangeイベント内でif文などの条件付処理を追加できます。

OK Cancel

ブラウザで表示して確認します。

プルダウンを選択すると、送信が行われて選択したセルが反映され、プルダウンの値を参照できていることが確認できます。



【例5の実行】現在のセルの内容を解析したい

入力規則の設定されたセル、もしくはオフセット位置の記述があるセルで、AI Naviを起動します。

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
13	1	2	3										
14													
15													
16													
17													
18													
19													

Callouts in the image:
- A red box highlights cell R15C2, with a callout: '入力規則を設定したセル' (Cell with input rule set).
- A red box highlights cell R15C8, with a callout: 'オフセット位置のセル' (Cell with offset position).
- The content of cell R15C8 is: `onchange=var el=document.createElement('input');el.type='hidden';el.n`

入力欄を空白の状態ですubmitボタンを押下すると、差し込み位置のセルの内容を解析して表示します。

